

放置された里山の間伐で景観を取り戻した事例

事業名：里山林整備事業（景観保全型）

市町名：北広島町

取組のきっかけ・経緯

・広島市から豊平地区へ続く県道沿いに位置する森林について、天然林がうっそうと繁り、歩道が薄暗くなり景観も悪いため、本事業を活用して、整備したいと要望があった。

今後の展開

・今回整備した森林について、持続的に維持・管理していくため、所有者と長期的な管理協定を結ぶ。
・町広報誌及び、電子媒体を活用し、里山林整備事業を広く周知し、多くの方に活用していただく取組を行う。

取組の内容

- ・事業主体：安芸北森林組合
- ・実施場所：北広島町阿坂字鍋山・雨堤
- ・業務委託先：自主施業
- ・業務量：2.91ha（間伐 50%）
- ・業務金額：3,199千円
- ・業務期間：令和元年9月18日～12月6日

取組後の感想

【良かった点】

・人目につきやすい場所にあるため、多くの方から「綺麗になった」「明るくなり、気持ちが良い」など好評であった。
・里山林整備事業を周知していく上で、実際の施業地を多くの方に見ていただけると感じている。

【悪かった点】

・里山林整備事業を活用し、整備した旨をアピールできる看板等を設置すれば良かったと思う。

【整備後】



【整備後】



道周辺の竹林を伐採し、安全に通行できるようになった事例

事業名：里山林整備事業（景観保全型）

市町名：神石高原町

取組のきっかけ・経緯

- ・道の周辺に竹がはびこり、薄暗く、見通しが悪かった。
- ・雪が降ると雪の重みで竹がしなり、通行の妨げになっていた。

今後の展開

- ・他にも竹林がはびこっている所が多くあり、継続して竹林の伐採をしていく予定である。

取組の内容

- ・事業主体：仙養自治振興会
- ・実施場所：神石高原町近田
- ・実施量：0.65ha
- ・事業金額：871千円
- ・事業期間：令和元年11月1日
～令和2年1月29日

取組後の感想

【良かった点】

- ・道が明るくなり、見通しが良くなった。
- ・雪が降っても安全に通行出来るようになった。

【整備後】



【整備後】



イノシシの隠れ場所をなくして被害を防ぐために 整備を行った事例

事業名：里山林整備事業（鳥獣被害防止型）

市町名：尾道市

取組のきっかけ・経緯

・御調町植野地区は谷合に耕作地があり、周囲の山から下りてくるイノシシの被害に頭を悩ませていたことから、昨年度に続き地元からの要望により整備を行った。

今後の展開

・今回除伐を行った範囲について森林所有者や耕作地所有者による維持管理を行い、継続して整備効果が発揮できるようにする。

取組の内容

- ・事業主体：尾道市
- ・実施場所：尾道市御調町植野
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：0.10ha
- ・業務金額：2,387千円
- ・業務期間：令和3年6月24日～8月31日

【整備前】



取組後の感想

【良かった点】

- ・耕作地を囲うように整備を行うことができ、鳥獣被害予防効果が期待できる。
- ・住民の手では整備しきれない段階まで荒れていたが、住民の手による維持管理を行える段階まで整備することができた。

【整備後】



害獣の潜み場所であり、住宅へ傾倒する竹林を整備した事例

事業名：里山林整備事業（環境改善型）

市町名：庄原市

取組のきっかけ・経緯

・住宅へ裏山の竹が倒れてきて困っていると相談があった。話を聞くと、家の横の畑に獣が進入して困っているともいう。当事業を提案し、施業に至った。

今後の展開

・丁寧な棚積みができたので所有者による手入れがし易く、竹の子や灌木を切除し維持管理していく。
・山の裏側へも竹林が繁茂していきっており、引き続き一帯的な整備を行っていく。

取組の内容

- ・事業主体：庄原市
- ・実施場所：庄原市東城町栗田
- ・業務委託先：東城町森林組合
- ・業務量：0.60ha
- ・業務金額：1,104千円
- ・業務期間：令和5年1月18日～3月20日

取組後の感想

【良かった点】

- ・県道に面しており、景観改善による視覚効果が大変高かった。そのことにより、事業地を目にした第三者からの問い合わせが複数あった。
- ・所有者によると、畑への獣害や周辺の糞害が減ったとのこと。
- ・竹林の中に古い無縁墓があり、お参りすることができた。

【悪かった点】

- ・直径20cmを超える大きな孟宗竹が多く、牽引しながらの作業となり大変な手間を要した。
- ・急傾斜地であり、また電線や住宅も近く、災害や物損のリスクが高かった。

【整備前】



【整備後】



放置森林を整備し見通しの良い環境に変えた事例

事業名：里山林整備事業（環境改善型）

市町名：大竹市

取組のきっかけ・経緯

・ひろしまの森づくり事業に係る市協議会において、要望が出されたことから、実施した。

今後の展開

・周囲には依然としてうっそうとした森林が残っているため、市広報等を活用し、事業の周知を図る。

取組の内容

- ・事業主体：大竹市
- ・実施場所：廿日市市大野字横撫
- ・業務委託先：佐伯森林組合
- ・業務量：0.6ha
- ・業務金額：904千円
- ・業務期間：令和4年12月22日～令和5年3月31日

取組後の感想

【良かった点】

・実施場所において適切に伐採が行われた結果、日照、風通し等の環境が良好なものとなった。

【整備前】



【整備後】

